

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年7月27日

上場会社名 ジャニス工業株式会社  
 コード番号 5342 URL <http://www.janis-kogyo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山川芳範  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 富本和伸  
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日  
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 名

TEL 0569-35-3150

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	1,027	6.7	19	—	16	—	24	—
21年3月期第1四半期	962	—	△5	—	△7	—	△10	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	1.30	—
21年3月期第1四半期	△0.56	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	5,426	1,933	35.6	103.44
21年3月期	5,516	1,900	34.5	101.71

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 1,933百万円 21年3月期 1,900百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	2,050	△5.4	10	△71.7	3	△89.6	0	△100.0	0.00
通期	4,100	△11.7	50	△38.0	30	△56.8	20	△61.0	1.07

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	19,167,715株	21年3月期	19,167,715株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	478,959株	21年3月期	476,794株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	18,689,697株	21年3月期第1四半期	18,693,876株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、世界的金融危機の長期化により企業収益が圧迫され、雇用環境が悪化し、引続き個人消費が低迷するなど厳しい状況となりました。

当社関連業界におきましては、新設住宅着工戸数が前年を大幅に下回る水準で推移しており、企業間競争の激化など、今後も厳しい状況が続くものと思われまます。

こうした状況の中、従来から継続している全社横断のコスト削減活動「シェイプアップ76」を強化し、生産部門で製造原価低減をさらに推進し、営業・開発・管理部門でも徹底したコスト管理を行ってまいりました。また、フロントスリムトイレ「イーフィットクリン」の拡販等、売上増加に注力してまいりました。

その結果、当第1四半期会計期間の売上高は、1,027百万円と前年同四半期と比べ64百万円(6.7%)増加いたしました。利益面につきましては、営業利益は、19百万円と前年同四半期と比べ25百万円の増加、経常利益は、16百万円と前年同四半期と比べ24百万円の増加、当期純利益は、24百万円と前年同四半期と比べ34百万円の増加となり、いずれも黒字化いたしました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産・負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて、99百万円減少して2,184百万円となりました。これは主として、売掛金の減少144百万円とたな卸資産の増加30百万円によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて、8百万円増加して3,241百万円となりました。これは主として、投資有価証券11百万円の増加によるものであります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて、90百万円減少して5,426百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて、126百万円減少して1,754百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の減少100百万円と賞与引当金の減少37百万円によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて、4百万円増加して1,739百万円となりました。これは主として、長期未払金の増加41百万円、長期借入金の増加29百万円と役員退職慰労引当金の減少60百万円によるものであります。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて、122百万円減少して3,493百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて、32百万円増加して1,933百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加24百万円と有価証券評価差額金の増加8百万円によるものであり、自己資本比率は35.6%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ23百万円増加し、366百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間における営業活動による資金の増加は、27百万円となりました。これは主として、税引前四半期純利益25百万円、売上債権の減少123百万円、長期未払金の増加41百万円、減価償却費40百万円による資金の増加と、仕入債務の減少100百万円、役員退職慰労引当金の減少60百万円、賞与引当金の減少37百万円による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間における投資活動による資金の減少は、34百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間における財務活動による資金の増加は、29百万円となりました。これは主として、長期借入れによる収入100百万円の資金の増加と、長期借入金の返済70百万円による資金の減少によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成21年5月14日発表の第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更ありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

たな卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前事業年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

法人税等の算定方法

当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	366,976	343,617
受取手形及び売掛金	1,204,827	1,328,041
製品	476,502	440,635
仕掛品	46,239	50,959
原材料及び貯蔵品	69,450	70,022
前渡金	3,051	34,282
前払費用	12,096	8,917
その他	7,233	9,088
貸倒引当金	△1,889	△2,060
流動資産合計	2,184,488	2,283,503
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	373,388	374,407
構築物（純額）	32,015	33,286
機械及び装置（純額）	355,019	367,855
車両運搬具（純額）	363	391
工具、器具及び備品（純額）	51,222	47,318
土地	2,102,238	2,102,238
建設仮勘定	28,180	18,531
有形固定資産合計	2,942,429	2,944,029
投資その他の資産		
投資有価証券	65,254	53,873
出資金	120	120
長期貸付金	—	114
差入保証金	39,305	39,737
投資不動産（純額）	175,482	175,568
その他	40,700	43,800
貸倒引当金	△21,500	△24,400
投資その他の資産合計	299,362	288,814
固定資産合計	3,241,792	3,232,843
資産合計	5,426,280	5,516,347

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	609,660	710,097
短期借入金	570,000	570,000
1年内返済予定の長期借入金	420,352	420,072
未払金	45,808	34,609
未払費用	31,633	37,645
未払法人税等	3,652	12,255
未払消費税等	9,394	19,974
前受金	4,079	4,079
預り金	16,481	3,946
設備関係支払手形	28,357	15,589
賞与引当金	14,673	52,209
流動負債合計	1,754,093	1,880,479
固定負債		
長期借入金	599,586	569,964
繰延税金負債	4,087	940
再評価に係る繰延税金負債	696,849	696,849
退職給付引当金	236,051	242,775
役員退職慰労引当金	—	60,661
長期未払金	41,410	—
長期預り保証金	161,061	163,683
固定負債合計	1,739,046	1,734,874
負債合計	3,493,139	3,615,354
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金		
資本準備金	250,000	250,000
その他資本剰余金	218,339	218,339
資本剰余金合計	468,339	468,339
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△540,429	△564,654
利益剰余金合計	△540,429	△564,654
自己株式	△34,686	△34,573
株主資本合計	893,223	869,111
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	31,999	23,964
土地再評価差額金	1,007,917	1,007,917
評価・換算差額等合計	1,039,917	1,031,881
純資産合計	1,933,140	1,900,993
負債純資産合計	5,426,280	5,516,347

(2) 【四半期損益計算書】  
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	962,966	1,027,448
売上原価	753,527	781,847
売上総利益	209,439	245,600
販売費及び一般管理費	214,828	225,742
営業利益又は営業損失(△)	△5,388	19,857
営業外収益		
受取利息	0	8
受取配当金	896	506
受取賃貸料	11,934	11,902
受取補償金	2,101	844
その他	1,220	233
営業外収益合計	16,152	13,494
営業外費用		
支払利息	10,821	9,677
売上割引	2,632	3,160
租税公課	2,523	2,416
その他	2,652	1,825
営業外費用合計	18,630	17,079
経常利益又は経常損失(△)	△7,866	16,272
特別利益		
固定資産売却益	148	100
貸倒引当金戻入額	387	170
役員退職慰労引当金戻入額	—	12,100
その他	—	22
特別利益合計	536	12,393
特別損失		
固定資産除売却損	1,456	2,667
特別損失合計	1,456	2,667
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△8,786	25,998
法人税、住民税及び事業税	1,766	1,773
法人税等合計	1,766	1,773
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△10,553	24,224

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△8,786	25,998
減価償却費	44,699	40,271
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△387	△3,070
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△29,124	△37,536
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△5,714	△6,723
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,823	△60,661
受取利息及び受取配当金	△896	△515
受取賃貸料	△11,934	△11,902
支払利息	10,821	9,677
固定資産除売却損益 (△は益)	1,308	2,567
長期未払金の増減額 (△は減少)	—	41,410
売上債権の増減額 (△は増加)	186,376	123,213
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△16,918	△30,575
仕入債務の増減額 (△は減少)	△98,829	△100,436
その他	△57,375	40,141
小計	16,060	31,857
利息及び配当金の受取額	896	515
賃貸料の受取額	11,934	11,902
利息の支払額	△10,821	△9,629
法人税等の支払額	△7,040	△7,067
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,030	27,579
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△19,222	△34,044
有形固定資産の売却による収入	148	—
その他	150	34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,923	△34,010
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△25,020	△70,098
自己株式の取得による支出	△151	△112
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,171	29,789
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△33,064	23,358
現金及び現金同等物の期首残高	325,536	343,617
現金及び現金同等物の四半期末残高	292,471	366,976

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。